

4 応急仮工事等

災害発生後、そのまま放置すると被害が拡大する恐れや、飲用水等の生活インフラの早期復旧のため応急仮工事（仮設的な工事）等を実施しました。



和田地区 排水ポンプ設置（相馬市）

和田排水機場が冠水し、排水できない状況になったため、農林水産省のポンプによる排水作業が行われた。



山上地区 営農飲雑用水 仮配管設置（相馬市）

生活用水として使用している配管が河川の護岸とともに被災したため、飲用水が断水した。早期に復旧が必要なため、応急仮工事を実施し11月6日に通水を再開した。

5 農作物等の技術対策について

台風接近前、通過後において農作物等の管理に万全に期すよう、ホームページ等により迅速に技術対策情報を発信しました。

- ・10月11日事前対策情報、13日・16日事後対策情報の発信

台風19号による作物別の事後対策情報

令和元年10月13日（日）
相双農林事務所農業振興普及部

1 共通技術対策

【共通】

- ・停滞水は、明きょなどで早急にほ場外に排水しましょう。
- ・冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっているので、直ちに適切な薬剤散布を行いましょう。また、草勢回復のため、液肥のかん注や葉面散布剤の散布を行いましょう。

【共通（施設）】

- ・台風の吹き返しに注意して、施設の換気を行いましょう。

2 作物別技術対策

(1) 【水稲】

- ・冠水したほ場では、少しでも早く葉先が水面より上に出るよう早急に排水しましょう。
- ・コンバインが入れるほ場から速やかに収穫しましょう。
- ・倒伏したほ場では刈り分けを行いながら、丁寧な収穫作業を行い、泥を混入させないようにしましょう。
- ・冠水したほ場では、流水やゴミ類がほ場内に残っている場合があるので、作業中にこれらに機械に巻き込まないように注意してください。
- ・収穫後の乾燥・調整作業は丁寧に行い、品質向上に努めましょう。

(2) 【大豆】

- ・大豆で葉が損傷した場合には、カビ粒や腐敗粒になりやすいため、必要に応じて速やかに防除を行いましょう。

(3) 【野菜】

- ・収穫した野菜は、傷みが無いか良く確認しながら調整作業を行い被害したものは出荷しないようにしましょう。
- ・マルチを行っている畦が冠水した場合、マルチ下の土壌水分が多くなりやすいため、マルチをめくって乾燥させましょう。

○ブロッコリー

- ・茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・風により茎葉が損傷した場合についても、黄化した葉等を取り除いた上で、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・倒伏したものは、曲がりによる品質低下を防ぐため、できるだけ早く引き起こしましょう。また、畦間に追肥を行い、軽く中耕培土し、草勢の回復を図りましょう。（高温時の中耕培土は控えましょう。）

○ネギ

- ・茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・風により茎葉が損傷した場合についても、黄化した葉等を取り除いた上で、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・倒伏したものは、茎が曲がるのを防ぐため、できるだけ早く引き起こしましょう。また、畦間に追肥を行い、軽く中耕培土し、草勢の回復を図りましょう。（中耕培土は、高温時は控えましょう。実施は薬剤散布後とし、ネギを傷つけないよう十分に注意しましょう。）

○ニラ

- ・茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・風により茎葉が損傷した場合についても、黄化した葉等を取り除いた上で、適切な薬剤散布を行いましょう。

(4) 【キク】

- ・露地の花きは、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行い、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょう。
- ・ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、白さび病等の予防薬剤散布を行いましょう。
- ・倒伏したものは出来るだけ早く引き起こし、曲がりによる品質低下を防ぎましょう。

(5) 【日本ナシ】

- ・落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょう。
- ・大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等でとめるか、縄などでしばり傷口を接着させましょう。

(6) 【畜産・飼料作物】

- ・畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょう。
- ・台風の通過後は高温となるおそれがありますので、家畜の暑熱対策を徹底しましょう。また、家畜の姿勢、採食量や反芻などの行動をよく観察し、異常や疾病の早期発見・早期治療に努めましょう。
- ・停滞している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し速やかに排水しましょう。
- ・収穫していない飼料用イネが倒伏等の被害を受け、回復が期待できない場合は早急に収穫調整作業を行いましょう。

発行：福島県相双農林事務所農業振興普及部 TEL 0244-26-1151
農業等の使用については収穫前の日数、散布濃度について注意して下さい。